



ほん ごう しょう  
**本 郷 小**

学校だより  
第 4 号  
R3.5.31  
発行者  
校長 藤田雅也



**明日から6月(水無月)です**

6月は梅雨入りの季節。雨がたくさん降るのに”水の無い月”とは変ですね。実は”無”は”の”にあたる連体助詞ですので、「水無月」は”水の月”ということになります。田植えが済み、田に水を張ることから”水の月”と呼ばれるようになったようです。子供たちにとって雨は、校庭で遊べないので残念ですが、植物にとっては恵みの雨。すくすくと生長する時期でもあります。本郷小学校では、1年生のアサガオをはじめ、たくさんの花や野菜の芽が出て育っています。植物に負けないように、子供たちも一日一日を大切に、成長してほしいですね。



**田植え体験（5年生）**

5月20日（木）5年生は、木野光洋さんのご協力を得て、田植えを体験しました。まず、稲の苗や植え方の説明をしていただき、靴をぬいで田んぼに入って、手植えを行いました。ぬるっとした泥の感覚や少し冷たい水の刺激にドキドキしながらの体験でした。自分の担当した列の田植えを終えると、田植機に乗っての田植えも体験させていただきました。まるで遊園地のアトラクションのようで、子どもたちは大喜び。木野さんには、お忙しい中貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。



**1・2年生の遠足**

5月27日（木）、1・2年生の遠足がありました。当初の予定では、せせらぎ公園に向かうはずでしたが、新型コロナウイルス感染症による非常事態宣言下のためトイレ等の公共施設が使えず、瀬戸町通りを中心に探索することになりました。元気よく出発し、町並みを見学しながら歩いていた子供たちでしたが、あいにくの小雨で雨具を身につけて帰校することになりました。お昼までまだ時間があるため、体育館で運動をしてから、おいしいお弁当の時間です。みんな笑顔で食べていました。ふだんよりたくさん歩いたので、家に帰って疲れて寝てしまった子もいたようですね。



## プールの季節がやってきます!!

5月28日(金)6年生はプール清掃を行いました。しばらく使っていなかったプールの壁面や底面は、ヌルヌルしていてちょっと気持ち悪かったのですが、6年生は一生懸命にブラシでこすってきれいに磨いてくれました。滑って転んでびしょ濡れになる子もいましたが、それでもうれしそうに笑いながら活動してくれました。6年生、ありがとう!!!!



## 水泳の授業がはじまります!

6月1日(火)はプール開きです。しかし、水泳の授業でプールに入るのは、もう少し先になります。保護者の皆様には、水着等の準備の確認をお願いします。子供たちの成長は早いものです。昨年度までの水着が小さくなっていることがあります。よろしくお願いします。水泳は、心肺能力を高め、健康な体をつくる運動であるとともに、命を守る大切な学習でもあります。一人一人、目標を持って取り組めるようにします。

## 健康診断の結果をお伝えします



年度初めの健康診断が行われています。先日は全校児童の耳鼻科検診・歯科検診・尿検査、1・4年生の心電図検査が行われました。今後も内科検診等が予定されています。成長期の子供たちの疾病等を早期発見し早期治療を行うためのものですので、再検査や医療機関への受診を勧める文書が届きましたら早めにご対応くださるようお願いいたします。近年は、メディアを使う時間が長いお子さんが見られることから、視力の低下や肥満傾向のお子さんが増えています。生活習慣を振り返ることも大切です。

## 言葉の大切さ

私たちの生活は、あいさつや返事をはじめ、言葉でコミュニケーションをとることで成り立っています。気持ちの良いあいさつや返事はもちろんですが、相手を思いやったり、時や場所・相手の立場に応じた言葉遣いも、笑顔を広める大切な役割を果たします。言葉は心と心をつなぐ架け橋であると言えます。また、言葉は自分自身を成長させる力も持っています。信念や信条、座右の銘といった自分を律する言葉を大切に成長していく姿は心を打たれます。会津藩の「什(じゅう)の教え」も有名ですが、「みさと運動(『みんなであいさつ、明るい笑顔』『さわやか返事は、はっきり「はい」』『どこでも履き物 しっかりそろえ』)」など、昔から反復することで身につけることが行われてきました。そして、それが素晴らしい習慣になり、知らず知らずに自分自身を助けていることがあります。先日のテレビで、明治維新で活躍した西郷隆盛の母が、忙しく働く合間に子どもに繰り返し教えていた言葉があったことを知りました。「負けるな。うそをつくな。弱い者をいじめな。」の3つだそうです。「負けるな」には、当時貧乏だった西郷家で「貧乏は恥ではない。貧乏で心まで貧しくなり、努力を怠ったり卑屈になったりすることが恥だ」という教えです。毎日のように繰り返し繰り返し耳にしてきたことばが、困難を乗り越え、信じた道を進んでいく力になったのです。「耳にたこができる」という慣用句がありますが、大切なことを身につけるためには、それくらい繰り返しさなければならぬのかもしれない。

本郷小学校も、「笑顔」「夢」「チャレンジ」の合い言葉を、一人一人の生き方につながるように繰り返していきたいと思えます。